

高校生・保護者の本音「クリスマスプレゼント大調査 2022」

保護者の約3人に1人が物価や為替の経済状況がクリスマスプレゼントに“影響あり” 高校生が欲しいプレゼントランキング1位は…2年連続「お金」!

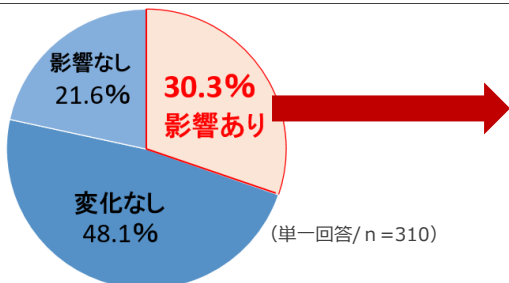
株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部が高校生エディター&公式LINE登録者を対象に“クリスマスプレゼント”についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/2022111500007/?vos=scrmot00030>

■保護者の約3人に1人が物価や為替の経済状況が子どもへのクリスマスプレゼントに“影響あり”と回答 “影響あり”の理由1位は「物価上昇が家計を圧迫して節約が必要のため」

年末に向けて何かとお金の増える時期ですが、クリスマスは一年に1度のお楽しみです。今年は何かとお金に関するニュースが多かった年。そこで、高校生の子どもがいる保護者約300人に、最近の物価上昇や為替などをはじめとした経済状況が子どもへのクリスマスプレゼントに影響はあるか？と聞くと、約3人に1人が“影響あり”と回答。さらに、その理由を聞くと「物価上昇が家計を圧迫して節約が必要」と回答した人が、52.1%で最大となりました。回答の中には、「作る料理の食材などの値上がりで家計の負担が増え、家計の中からプレゼントにかかるお金の割合が減るため」（女性/大阪府）という声もあり、今年は、いつもよりもやりくりをしながら楽しむクリスマスになりそうです。

Q:物価や為替などの経済状況がお子様へのプレゼントに影響はありそうですか？



<影響ありの理由>

順位	”影響あり”の理由	割合
1	物価上昇が家計を圧迫して節約が必要	52.1%
2	収入が減少	18.1%
3	今後の収入減少を見据えたやりくり	10.6%
3	今後の家計圧迫を見据えたやりくり	10.6%
5	子どもの欲しい物が値上がりした	8.5%

(単一回答/全体n=94)

■高校生が欲しいプレゼントと保護者があげたいプレゼントTOP5はほぼ一致!

昨年に引き続き1位は「お金」で、2021年にももらったプレゼントの平均金額は「8,543円」

高校生に、今年のクリスマスに欲しいプレゼントを聞くと、1位は昨年に引き続き「お金（現金）」で、同様に、保護者に今年子どもにあげたいプレゼントを聞くと、同じくお金（現金）が1位という結果に。お互いに、自由に使ってほしい、使いたいという気持ちの表れなのかもしれません。また、1位以下の内容も保護者と高校生に大きな相違は見られませんでした。なお、高校生が2021年のクリスマスに実際にもらったプレゼントの金額の平均は「8,543円」で、2020年の「8,237円」と大きな変化はない結果となりました。

<高校生が今年クリスマスに欲しいプレゼントTOP5>

順位	今年欲しいプレゼント	割合
1	お金（現金）	42.7%
2	服・かばん	20.0%
3	コスメ・香水	15.7%
4	金券（図書カードやquocardなど）	13.1%
5	本（参考書なども含む）	10.1%

(複数回答/n=779、その他を除く)

<保護者が今年クリスマスに子どもにあげたいプレゼントTOP5>

昨年の結果

順位	昨年欲しいプレゼント	割合
1	お金（現金）	38.6%
2	服・かばん	27.0%
3	コスメ・香水	22.6%
4	金券（図書カードやquocardなど）	17.8%
5	本（参考書なども含む）	14.4%

順位	今年子どもにあげたいプレゼント	割合
1	お金（現金）	42.9%
2	服・かばん	28.4%
3	本（参考書なども含む）	12.9%
4	靴	10.6%
5	金券（図書カードやquocardなど）	9.4%

(複数回答/n=310)

■編集長コメント

現金主義に拍車のかかった2022年!

高校生のプレゼント選びの傾向「堅実主義」に「円安・物価高影響」がプラスオン



『スタディサプリ進路』
編集長
仲井 美夏（なかい みか）

今年の「欲しいプレゼントランキング」は、世相が色濃く出た結果となりました。昨対で見るとTOP5に大きな違いはないものの各支持率には変化が。「お金」は38.6%から42.7%と人気に拍車がかかり、他の項目は軒並みダウン。高校生の間で現金主義が増加傾向にあります。その背景には、じわじわと昨今の経済状況が影響。実際、高校生の約20%が「今年のクリスマスプレゼントは円安・物価高の影響を受ける」と予想する結果に。

また、高校生がお金をためて買いたい物は、一度のプレゼントでは手の届かない高額の海外製品も多く、スマホ、イヤホン、PCなどに代表され、それらは円安や半導体不足の中で値上がりのあった品目です。調査を実施した10月末は、急速に円安が進み1ドル140円台後半を推移した時期で、高校生が「お金」を思わず選んだことも納得。「円安、半導体不足で値上がりしている」（高2男子/埼玉県）、「円安の影響で、もらえる金額内に収まりきれない可能性がある」（高3女子/大阪府）といったコメントも。中には、「値上がりしている物が多いから、買ってもらうのにちょっと気を使う。大学進学のためのお金とかもあるから」（高3女子/静岡県）と保護者を気遣う声も多々。表向きのランキングは昨年と同じでも、その背景や高校生のインサイトには変化が起きていることが分かります。

【アンケート概要】

- 調査時期：①2022年10月28日(金)～2022年11月3日(木)
②2022年10月28日(金)～2022年10月30日(日)
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象：①全国高校生男女（『スタディサプリ進路』の高校生エディター／公式LINE登録者）
②高校生の子どもがいる男女
- 有効回答数：①779人（男子205件、女子574件） ②310人（男性155件、女性155件）
- 調査実施機関：①株式会社リクルート ②株式会社マクロミル

■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインアップを無料で提供しています。

（詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>）

■“スタサブ編集部”について

全国3,000人以上の現役高校生からなる「スタサブ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Webサイト『#高校生なう』、年8回発行の雑誌『スタサブ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリ for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種SNSで配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は『#高校生なう』の下記URLにて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20221115000007/?vos=scrmot00030>>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>